



南中だより

平成29年 4月14日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

平成29年度のスタートに当たり、学校経営の重点課題について、本校の取組の概要をお知らせいたします。

思考力・判断力・表現力の育成

今後の社会で特に重要となる能力の育成・評価のために、大学入試の制度が変わります。

文部科学省は、現行のセンター試験を廃止して新たな評価テストを実施することを公表しています。平成29年度の初頭には実施方針が公表され、現在の中学3年生から「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」が実施されます。国の高大接続システム改革会議「最終報告」（平成28年3月31日）に以下のような一節があります。

複数の情報を統合し構造化して新しい考えをまとめる思考・判断の能力や、その過程や結果を表現する能力は、今後、社会のどのような分野においても主体性を持って活動し、活躍するために特に重要となるものであり、こうした能力を高等学校教育や大学教育でよりよく育成していくことが重大な課題である。

そのためには、共通テストとして多くの大学入学希望者の学習に大きな影響を与えることとなる「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」において、複数の情報を統合し構造化して新しい考えをまとめるための思考力・判断力やその過程や結果を表現する力などを評価することができるよう、マークシート式問題の一層の改善を図るとともに、自ら文章を書いたり図やグラフ等を描いたり式を立てたりすることを求める記述式問題を導入するための具体的な方策等について今後更に検討する。

日本は確実にそして急速に少子高齢化社会を迎えます。同時に産業構造や就業構造の転換、地方創生等への対応が求められます。また、国際的にはグローバル化や多極化の進展など社会変動が起こっています。

このような状況の中で、今後、我が国では、自ら課題を発見し、他者と協力して課題を解決していくための資質・能力を育む教育が一層重要となるのです。

南中の取組「思考・判断・表現力の育成 一書く力の育成を通して」

- 進んで書くことで、自分の考えが明確になります。
- 材料を集めることや効果的に書くことで、自分の考えをとらえ直し広げられます。
- 文章を論理的に書き表すことで、認識や思考を深められます。

「書く力」の育成は、子供たちの思考力・判断力・表現力の育成に資するものであり、思考・判断・表現力の育成は教科を問わず学力向上にもつながっていきます。

今年度、南中では以下の取組を重要な教育課題の解決策として実践します。

1 週あたり2回以上、10分間の朝学習において、進んで文章を書いて考えをまとめる力や態度を育てる活動を行います。

実施に当たっては、本年度より国語科の教員を1名増員し各学年に配置するとともに、市教育委員会から配置された学力向上指導員と連携して取り組みます。

2 すべての教科において、文章を書かせて考えを「広げる・深める」活動を行います。

具体的には、記録する、要約する、レポートや説明、論述するなど、各教科の指導内容を踏まえて方法を工夫して取り組んでいきます。

そして、書く力を育むことを通して、子供たちの思考力・判断力・表現力を育成し、学力向上を図ります。

※国語科の増員は、新入生が141名となり教員を1名増員することができる東京都の制度を活用して実現したものです。

オリンピック・パラリンピック教育の推進

国際社会で活躍する日本人の育成を目指して、各教科の日常的な指導で「触れる」活動を行い、道徳や総合的な学習の時間、行事など特設した時間の指導で「深める」活動を行います。

教科では、例えば理科の教科書にある「from JAPAN ニッポンの科学」の「下町ボブスレー発進！」で、日本の町工場の高度な技術を知るといような取組を行います。

また、特設した時間では以下のような取組を考えています。

1年生「大会の意義とそれを支える人々」

ソチオリンピックを例に、世界的なスポーツの祭典であるオリンピックやパラリンピックがどのような人たちによって支えられ開催されているかを学びます。

2年生「多様性と国際理解 ―おもてなしを考える―」

パナソニックセンター東京のおもてなしを例に、東京2020大会に向けて多様性や国際理解について学びます。

3年生「多様性と共生社会 ―インクルーシブな社会を考える―」

共生の在り方や共生社会を実現する上での問題を考えることを通して、共生社会を実現するために自分たちでできることを具体的に捉えます。

ワールドワイドオリンピック・パラリンピックパートナーであるパナソニックと連携して学習を進めます。また、ゲストティーチャーの招聘も進めていきます。

家庭、地域、学校が連携して教育活動を展開してまいりたいと考えております。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

平成 29 年度 人事異動について

有り難うございました。

松下 真由美	主任教諭（英語）	武蔵村山市立第二中学校へ転出
村松 さやか	教諭（家庭）	江戸川区立松江第三中学校へ転出
大塚 かなめ	育休代替教諭（養護）	任期满了
奈幡 樹	育休代替教諭（理科）	任期满了 練馬区立大泉中学校へ
高橋 浩美	育休代替教諭（音楽）	任期满了
入江 昭好	非常勤教員（社会）	東村山市立東村山第五中学校へ転出
齋藤 良秀	介助員	東久留米市立中央中学校へ転出

よろしくお願いいたします。

夏目 真美	主任教諭（家庭）	江戸川区立西葛西中学校から転入
山下 真実	教諭（英語）	板橋区立赤塚第三中学校から転入
水城 聡美	期限付任用教員（国語）	新規採用
轟 和久	非常勤教員（社会）	東久留米市立下里中学校から転入

岩崎 郁恵	主任教諭（音楽）	育休明け復帰
宮岡 ちひろ	主任養護教諭	育休明け復帰
力丸 玲	教諭（理科）	育休明け復帰

教職員一覧（平成 29 年 4 月 7 日現在）

校長 川上 智 副校長 加藤 順子（◎は学年主任）

学 年	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
1 組	◎柿崎 豊（技）	宮島 悠維（国）	橘川 小夜（美）
2 組	瀧沢 ちなみ（英）	小出 由佳里（体）	植津 佑一朗（社）
3 組	夏目 真美（家）	山下 真実（英）	小嶋 辰彦（体）
4 組	片渕 久彦（数）	◎石川 一樹（理）	◎市川 正彦（社）
副担任	高橋 健二（体）	安藤 隆司（数）	内田 保恵（数）
副担任	力丸 玲（理）	岩崎 郁恵（音）	安藤 みよ子（国）
副担任	水城 聡美（国）		阿部 公一（英）
学年付		轟 和久（社）	
		宮岡ちひろ（養護）	

（・教務主任 内田 保恵 ・生活指導主任 高橋 健二 ・進路指導主任 石川一樹）

非常勤講師	鎌田 明子（国）	滝川 早織（数）	唐澤 孝徳（理）
	徳山 薫（数）		
スクールカウンセラー	木野 照美		
学力向上指導員	半谷 綾華	学力ステップアップ指導員（数）	荒町 径・徳山 薫
事務職員	吉田 亜紀子（都）	田中 桂子（市）	小山 操枝（給食）
用務主事	小林 常明	田原 恵美	
給食配膳員	鶴見 洋子	中原 由美子	